

# 2015 十六銀行の現況

## JUROKU BANK DISCLOSURE REPORT 2015

### イントロダクション

目次	1
ごあいさつ	2
じゅうろくのあゆみ	3
当行の基本理念	4
第13次中期経営計画	5

### 平成26年度業績ハイライト

事業の概況	7
-------	---

### 経営マネジメント

コーポレート・ガバナンス	13
内部統制システム構築に関する基本方針	14
コンプライアンス態勢	15
顧客保護等管理態勢	16
リスク管理態勢	16

### 十六銀行のCSR 地域の皆さまとじゅうろく

金融円滑化	19
地域密着型金融	20
地域の皆さまとのお取引状況	23
地域経済のために(経済活性化活動)	24
海外進出支援	27
地域社会のために(社会貢献)	29
地球環境のために(環境保全活動)	31

### トピックス

トピックス	33
-------	----

### 商品・サービスガイド

法人の皆さまへ	35
個人の皆さまへ	37
ATMネットワーク	39
ローンサービスセンター	41
各種お問い合わせ先	42
主な手数料一覧	43

### 株式についてのご案内

株式事務・優待のご案内等	44
--------------	----

### 十六銀行の概要

役員	45
組織	46
店舗ネットワーク	47
店舗外キャッシュコーナー一覧	51
主要な業務	52

### 行章



「十」が6個で「十六」銀行を意味するとともに、「十」の字を人間模様と考え、全職員が手をつなぎ、和(輪)を誓い心を一つにして前進することを示しています。

### 当行の概要

創業	明治10年10月	資本金	368億円
本店所在地	岐阜市	従業員数	3,350名
営業拠点数		預金等残高	5兆3,874億円
本支店	147か所	※譲渡性預金含む	
出張所	10か所	貸出金残高	3兆8,656億円
ローンサービスセンター	19か所		
海外駐在員事務所	4か所		
(香港・上海・シンガポール・バンコク)			
店舗外ATM	248か所		

(平成27年3月31日現在)



ごあいさつ

## 私たちは、 お客さまとの「エンゲージメント」を大切に、 全力で行動してまいります。

平素より十六銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

ここに、当行の営業の概況や平成27年3月期決算の状況を皆さまにご理解いただくため、ディスクロージャー誌を発刊いたしました。

金融機関を取り巻く環境をみますと、将来の人口減少が確実視され、地域経済が構造的に縮小することも懸念されるなか、地域金融機関には、地域経済の活性化に向け、これまで以上に積極的な役割を果たすことが求められております。

こうしたなか、当行は、お客さまとの相互のつながりを積極的に強め、強固な信頼関係を築きあげていく「エンゲージメント」力に磨きをかけ、お客さまの夢の実現や発展のお役に立てるよう行動していくとともに、収益性を高め、お客さま、そして地域の皆さまとともに持続的な成長を成し遂げていきたいと考えております。

地道な営業活動によりお客さまとの双方向のコミュニケーション向上に努め、お客さまを深く知り、最適なサービスを提供し、良き相談相手としてお役に立ってまいります。

「第13次中期経営計画～All For Your Smile ころこにひびくサービスを～」を着実に遂行し、「持続的成長力を備え、真に頼りにしていただける地域金融機関」を目指し、一層の企業価値の向上に邁進してまいり所存であります。

皆さまにおかれましては、今後とも引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成27年7月

取締役頭取 **村瀬幸雄**



# じゅうろくのあゆみ

明治10年(1877年)10月、第十六国立銀行として創業して以来、地域社会や産業界から厚い信頼をいただき歩み続けてきました。

明治	10年	10月	● 第十六国立銀行創業
	29年	12月	● 株式会社十六銀行と改称
昭和	9年	11月	● 外国為替業務を開始
	26年	12月	● 名古屋支店を開設
	28年	4月	● 資本金を4億円に増資
		7月	● 東京事務所を設置
	31年	4月	● 東京支店を開設
	35年	3月	● 資本金を8億円に増資
		4月	● 大阪支店を開設
	44年	4月	● 資本金を24億円に増資
		10月	● 名古屋証券取引所第二部上場
	46年	6月	● 資本金を40億円に増資
		47年	6月
	9月		● 東京証券取引所第一部上場
	48年	4月	● 資本金を57億7千万円に増資
	50年	7月	● 全店総合オンライン完成
		9月	● 資本金を75億1百万円に増資
	52年	4月	● 海外コルレス業務を開始
		10月	● 新本店竣工
	10月		● 創立100周年
	53年	4月	● 資本金を78億7千6百5万円に増資
	54年	12月	● 総預金1兆円達成
	56年	10月	● 資本金を100億円に増資
	57年	7月	● 第2次オンラインシステム完成
		8月	● コルレス包括承認銀行に昇格
	58年	4月	● 公共債の窓口販売開始
60年	6月	● 債券ディーリング業務を開始	
61年	12月	● 資本金を132億円に増資	
62年	1月	● 香港駐在員事務所を設置	
	9月	● 総預金2兆円達成	
	10月	● 創立110周年	
			● 第1回無担保転換社債の発行

元年	6月	● 香港支店を開設
	10月	● 中間発行増資総額120億円
2年	3月	● 総預金3兆円達成
3年	3月	● 中間発行増資総額83億円
5年	3月	● 上海駐在員事務所を設置
	5月	● 第3次オンラインシステム完成
	7月	● 十六ビル竣工
6年	11月	● 代理店方式による信託業務参入
	3月	● 名古屋ビル竣工
7年	10月	● 中間発行増資総額151億円
	12月	● 東京三菱証券と社債関連業務に関する包括提携
8年	10月	● 「じゅうろくローンサービスセンター」を開設
9年	8月	● 十六地域振興財団設立
	10月	● 創立120周年
10年	4月	● 全支店で外貨両替業務を開始
	12月	● 証券投資信託の窓口販売開始
11年	1月	● テレホンバンキング業務を開始
	11月	● 電算センター竣工
12年	3月	● 十六フロンティア投資事業有限責任組合設立
	7月	● 名古屋銀行と業務提携検討開始
13年	4月	● 保険商品の窓口販売開始
	5月	● ISO14001認証取得
	11月	● 中部金融M&Aネットワーク発足
16年	4月	● ブロック制スタート
17年	3月	● 証券仲介業務を開始
19年	7月	● 地銀共同化システム稼働
	10月	● 創立130周年
21年	1月	● 岐阜銀行と業務資本提携契約締結
22年	12月	● 総預金4兆円達成
		● 岐阜銀行を株式交換により子会社化
23年	4月	● 第12次中期経営計画スタート
24年	4月	● 名古屋支店を名古屋営業部へ昇格
	9月	● 岐阜銀行との合併
	12月	● 預金等残高5兆円達成
25年	6月	● 株式会社十六総合研究所を設立
26年	4月	● 第13次中期経営計画スタート
27年	3月	● シンガポール駐在員事務所を設置
		● バンコク駐在員事務所を設置

旧本店(岐阜市)



十六銀行名古屋ビル(名古屋市)



本店(岐阜市)



# 当 行 の 基 本 理 念

## [ 基本方針 ]

十六銀行は  
金融機関としての公共的  
使命を遂行することによって  
地域社会に奉仕する。

十六銀行は  
広い視野に立ち、  
つねに合理性を貫き堅実な  
経営により発展をはかる。

十六銀行は  
すべての職員が安定した  
生活ができるよう  
努力する。

## [ 経営方針 ]

### 頼りにして いただける 銀行

当行が歩む道—それは地域社会を離れてはありえません。地域社会との緊密化を深め、豊かで住みよい地域社会を築くことが、当行に課せられた使命です。お客さまの立場に立って行動し、総合金融サービスの拡充に努めるとともに、地元企業の育成、地域開発への参画等、地域中枢金融機関として、皆さまから一層頼りにしていただける銀行になるよう努力しています。

### 充実した 銀行

お客さまのニーズに即応し、質の高いサービスを提供していくには、経営体質が強固でなければなりません。このため、収益力の強化、資産の健全性の維持・向上に努め、リスク管理を徹底するとともに、経営全般にわたる合理化・効率化を推進しています。

### 行動する 銀行

激変する環境にあっても、金融機関としての機能を最大限に発揮する原動力は、高いモラルをもった活力ある人材であり、強靱な組織力です。誠意を尽くし高度な知識をもって、皆さまのお役に立つことができる人材育成に取り組むとともに、変化に柔軟かつ的確に対応できる組織づくりに努めています。

### 職場と人生

われわれは仕事を通じて社会に奉仕する。職場は自己を成長させ、幸福をもたらす場であるとの自覚に立ち、つねに最善をつくそう。

### 和の精神

信頼と協力は  
明るい職場をつくる。  
相たずさえて  
心からの和を誓おう。

### 後継者の育成

後継者の育成はわれわれの責任であり誇りである。明日の経営に自己を活かすことを考え、より良い後継者を育てよう。

## [ 行動指針 ]

### 信用の向上

銀行の生命は信用である。誠意をもって人に接し、熱意をもって仕事に当り、信用の向上に努めよう。

### たくましい実行力

実行は明日を創造する。信念と勇気をもって仕事をすすめよう。

# 第13次中期経営計画

## ～ All For Your Smile ところにひびくサービスを～

平成26年度から平成28年度までの3か年を計画期間とする「第13次中期経営計画～All For Your Smile ところにひびくサービスを～」に取り組んでおります。本計画においては、「徹底した顧客志向への意識改革・行動改革」、「地域金融機関としての原点回帰」、「愛知県戦略を軸とした成長戦略」を基本方針に据え、7つの基本戦略である「お客さま起点によるサービスの品質向上」、「地域別戦略」、「地域密着型金融のさらなる推進」、「資金運用力の強化」、「経営資源配分の最適化」、「人材活用および人材育成」、「財務体質の強化および経営管理態勢の高度化」に取り組んでまいります。



取締役頭取

村瀬幸雄

### 第13次中期経営計画

**基本戦略** 本経営計画における次の基本戦略を断行し、当行グループを取り巻く課題に適切に対処してまいります。

#### お客さま起点によるサービスの品質向上

お客さまとの接点強化をはかるとともに、お客さまの資産状況やライフステージによる様々なニーズに即した商品・サービスを提供しリテール部門を強化してまいります。また、お客さま目線での業務改革を通じてサービスレベルの向上や業務効率化に取り組んでまいります。

#### 地域別戦略

岐阜県においては、高品質のソリューション提供を通じて一層のリレーション強化をはかり、圧倒的な県内シェアを確保してまいります。愛知県においては、店舗網を充実させるほか、営業推進態勢の強化をはかり、地元化をさらに推進してまいります。

#### 地域密着型金融のさらなる推進

地域経済の健全な発展のため、迅速かつ円滑な資金供給のほか、お客さまのライフサイクルに応じたコンサルティング機能の発揮等、地域密着型金融のさらなる推進に取り組んでまいります。

#### 資金運用力の強化

機動的な有価証券運用により収益拡大をはかるほか、新たな収益機会を積極的に取込み、資金運用力を強化してまいります。

#### 経営資源配分の最適化

効果的なコスト管理の実施や中長期的なICT戦略の強化など、限られた経営資源を有効に活用してまいります。

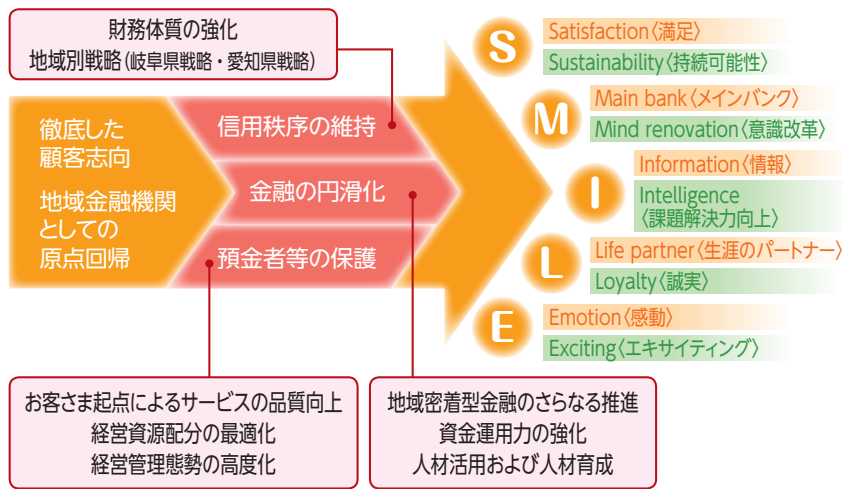
#### 人材活用および人材育成

職員のモチベーションの向上のため、能力・適性に応じた処遇等に努めるほか、人材育成に注力してまいります。

#### 財務体質の強化および経営管理態勢の高度化

資本および資産の質の向上をはかり財務体質を強化していくほか、リスク管理態勢の高度化やコンプライアンス・顧客保護の徹底をはかってまいります。



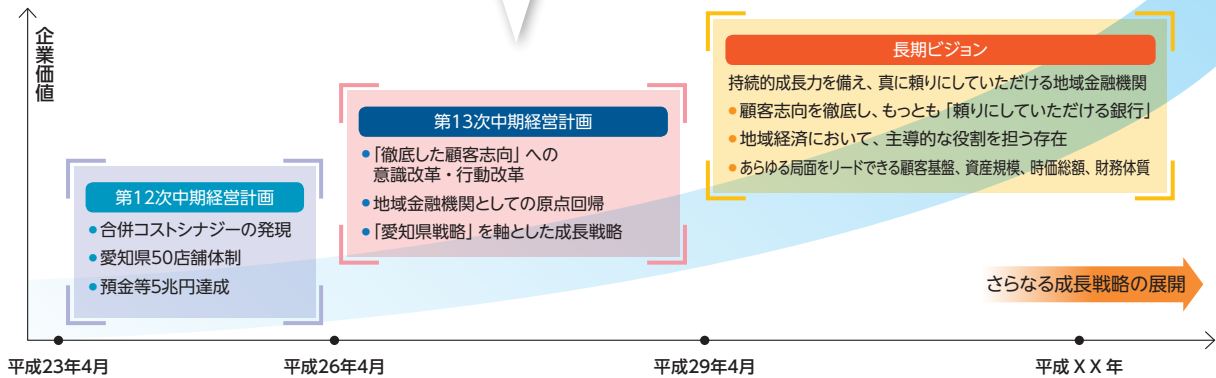


計数目標	成長性(顧客基盤)		収益性	健全性	
	預金等残高	リテール貸出先件数 <sup>※1</sup>	当期純利益	コア資本比率(完全実施ベース) <sup>※2</sup>	与信費用率 <sup>※3</sup>
	最終年度末 5兆6,000億円	最終年度末 100,000件以上	最終年度 100億円	最終年度末 8.8%以上	最終年度 0.2%未満

※1 リテール貸出先件数= 中小企業貸出先数(含、個人事業主) + 住宅ローン・アパートローン件数(当行基準)

※2 コア資本比率 =  $\frac{\text{コア資本(経過措置適用前)}}{\text{リスク・アセット等(経過措置適用前)}}$  (完全実施ベース)

※3 与信費用率 =  $\frac{\text{与信関係費用}}{\text{貸出金平残}}$



そのもと      すえ  
～其の本栄えて末栄える～

当行には、「行員心得十則」という基本方針が明治の時代からあります。

「行員心得十則」の一番目は、「其の本栄えて末栄える」という教えから始まります。

これは、本(もと)であるお客さまが栄えることで、

やがては末(すえ)に位置する銀行が栄えることにつながることを説いています。

お客さま本意の考え方は今に始まったものではなく、現在に至るまで脈々と受け継がれております。

当行の役職員はこれからも「徹底したお客さま志向」のもと、行動してまいります。